

2023年度

一般選抜・ 大学入学共通テスト利用選抜 募集要項

- 注意**
- ・2023年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜はすべてインターネット出願となります。
 - ・出願する選抜ごとに書類を準備し、角2サイズの封筒に入れ、それぞれ簡易書留で郵送してください。(一般選抜の各日程、大学入学共通テスト利用選抜を併願する場合、それぞれ調査書が必要です)



宮城学院女子大学

Contents

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)	01	Web 可否発表の利用方法	21
募集定員／試験日程一覧	04	納付金	22
インターネット出願の流れ	05	音楽科専門試験要項	23
一般選抜(A日程)「全学部型」	07	試験場案内図(地方試験場案内含む)	33
一般選抜(A日程)「学科特化型」	11		
一般選抜(B日程)	15		
大学入学共通テスト利用選抜(A・B・C日程)	18		

新型コロナウイルス感染防止について

- ・ 選考日の7日前から毎朝体温測定を行い、体調把握に努めてください。
- ・ 発熱・咳等の症状がある人はあらかじめ医療機関を受診してください。新型コロナウイルスに罹患し、試験日に入院中または自宅や宿泊施設において療養中の方は受験できません。
- ・ 発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内では、昼食時を除き、必ずマスクを着用してください。また、休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話は極力控えてください。
- ・ 受付付近および各教室などに消毒用アルコールを設置していますので、入退室を行うごとに手指消毒を行ってください。
- ・ 試験当日、試験室の換気のため窓等の開放を行いますので、必要に応じて上着などをご用意ください。また、試験場で食堂・売店等の営業は行いませんので、昼食が必要な方は必ず持参し、あらかじめ指示された時間内に自席で食事をとってください。
- ・ 付添者は構内に入ることはできません。自家用車もしくはタクシーで来学する場合、入構することは可能ですが待機するための駐車場は用意していません。

《お知らせ》学業特待生の選抜対象について

総合型選抜・学校推薦型選抜合格者が大学入学共通テストを受験し、所定の成績をおさめた場合に学業特待生候補者の対象とします。その場合は、当該学科への合格を確保したものとし、別途審査料を支払って、特待生申請手続きをしていただきます。

なお、大学入学共通テストでは、本学の大学入学共通テスト利用選抜(A日程)において入学予定の学科が指定している科目を満たすよう受験してください。

また、特待生枠には限りがありますので、申請をしても必ずしも認められるわけではありません。

申請手続き方法・申請書類などの詳細は、10月上旬に本学Webサイトに掲載する予定です。

宮城学院女子大学 共生のための多様性宣言

宮城学院女子大学は、本学に集うすべての学生の多様性と尊厳・人権を尊重します。

年齢、信条、障害、エスニシティ、性的指向・性自認など、個人の特性や文化的背景を尊重し、そのための環境づくりに最善を尽くします。

本学では、2021年度より、本学で学ぶことを希望するトランス女性(戸籍上男性であっても性自認が女性である方)を受け入れることとしました。

受験時に配慮が必要な場合には、特別配慮申請書を用いて事前にご相談ください。

また、入学後に合理的配慮が必要な場合には、入学前(3月後半)に学生相談・特別支援センターに事前相談をすることができます。

宮城学院女子大学 アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

宮城学院女子大学では、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。それぞれの学科・専攻における専門分野に関して、興味や関心、学習意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。それぞれの学科・専攻の学びを生かして、社会貢献あるいは自己実現を果たすことを目指している。

現代ビジネス学部

現代ビジネス学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。ビジネス・パーソンとして活躍する希望を抱き、そのために必要なビジネス学の専門知識と知的能力を身につける学習意欲を有している。本学科が推進するプロジェクト型学習の理念を理解し、理論学習にとどまらない実践的な活動に取り組む積極的な姿勢を有している。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。急激に変化する現代社会の諸問題を自らの課題と受け止め、大学での学びを通して問題解決に向けて取り組む意識を有している。

教育学科 幼児教育専攻

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。教育や保育に関連する専門的な学びに対する強い興味と関心、意欲を有していること。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。保育・幼児教育の専門性を高め、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得を目指している。認定心理士と社会福祉士の資格取得することと同時に、子どもの心と心の発達を理解、支援の方法を学ぶ明確な目的意識を有している。

教育学科 児童教育専攻

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。幅広い教養と教科に関する高い専門性を修めるための基礎的な学力をもっている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。子どもの人格形成に影響を及ぼす教育という営みを探求することに強い関心を持っている。子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力を身につけようとする意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。教育のスペシャリストを目指そうとする目的意識を持っている。

教育学科 健康教育専攻

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。今日の子どもの抱える多様な健康問題に取り組み、子どもたちの健やかな成長と発達に寄り添っていくという意欲と情熱を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。「教育」という、人間の成長発達を支える営みとそれに関わる仕事に強い関心を持っている。

教育学部

食品栄養学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。科学に興味を有し、化学と生物についての基礎的な知識を有している。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。食と健康への関心が高く、広範な食と人に関する強い学びの意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。栄養・食生活を核としたコミュニケーションを通して、人々の健康と幸福に寄与する仕事につきたいとの目的意識を有している。

生活文化デザイン学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。生活文化・地域社会、住居・インテリアデザイン、および、建築・まちづくりなどに対する関心と問題意識を有している。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。家庭科教員、学芸員、建築士、インテリアデザイナー、まちづくりの専門家等として社会に貢献することを目指している。

日本文学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。現代まで受け継がれてきた日本のことばと文化、特に伝統的な言語文化について、基礎的な知識と読解力を有している。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。「国語」に関心がある。読書を好み、文章を書くことに興味がある。適切で的確な日本語運用能力を身につける意欲がある。日本語や文学・演劇・映画等、日本のことばと文化に興味を持ち、これらに関する専門的で体系的な知識を修得する意欲がある。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。国語科教員・日本語教師・記者・編集者・司書・学芸員等、日本のことばと文化に関する専門性を活かした職業に就き、社会の発展と文化の向上に貢献する意欲がある。

英文学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。英語に対する強い関心と興味を持ち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲があり、英語運用能力を高めたことを考えている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。英語学や英米文学・文化を専門的に学ぶことにより、国際社会で必要とされる客観的かつ複眼的な視点を身につけたいと考えている。自分の考えを英語で発信しながら自分と異なる価値観を持つ人と積極的に交流し、日本と外国との架け橋になることを目指している。

人間文化学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。日本、またはアジア、ヨーロッパの過去、または現在の文化、社会などを学ぶことに強い意欲を持つ。国際舞台上で活躍したり、教員や学芸員といった専門職に必要な知識・技能等を獲得する学びに積極的に取り組む意欲を持つ。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。問題を発見し解決する能力、情報発信力、コミュニケーション能力を身につけることを強く希望する。

心理行動科学科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。文章を読み解くことおよびデータを読み取ることについて、基本的な能力を持っている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を持っている。
3. 目的意識 人間の心や行動に関心を持ち、それらを客観的に考える力、的確に表現する力を獲得する意欲がある。本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。実証と実践に重点を置いて心理学を学び、自ら積極的に知識や経験を積み上げようとする目的意識を持っている。

音楽科

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。演奏や作曲の技能向上に向けて、継続的な練習に取り組むことができる。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。音楽の実践的・理論的基礎の習得に、体系的に取り組む意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。学びの中で得た知識や技術、社会性を活かせる仕事に就きたいと考えている。

募集定員

入試種別	区分	現代ビジネス学部	教育学部教育学科			生活科学部		学芸学部				
		現代ビジネス学科	幼児教育専攻	児童教育専攻	健康教育専攻	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科 ^{※1}
入学定員		95名	90名	50名	30名	100名	60名	100名	70名	70名	60名	25名
総合型選抜	I期	15名	15名	4名	5名	15名	10名	18名	5名	5名	10名	6名
	II期	2名	2名	1名	1名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名
学校推薦型選抜 ^{※2} (公募制・指定校)		35名	37名	15名	10名	35名	18名	35名	28名	28名	25名	7名
一般選抜	A日程 (全学部型)	15名	15名	10名	3名	20名	10名	15名	13名	13名	8名	2名
	A日程 (学科特化型)	10名	5名	5名	2名	10名	5名	10名	5名	5名	4名	2名
	B日程	4名	4名	4名	2名	4名	5名	4名	5名	5名	4名	2名
大学入学共通テスト 利用選抜	A日程	10名	8名	7名	3名	10名	6名	12名	8名	8名	3名	3名
	B日程	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名
	C日程	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名

※1 音楽科は、器楽コース(ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器)、声楽コース、作曲コースがあります。

※2 学校推薦型選抜の募集定員には、指定校および併設の宮城学院高等学校からの推薦を含みます。

[選考の結果、学力等が本学の求める水準に満たないと判断される場合、合格者数が各選抜区分の募集定員を下回る場合があります。]

試験日程一覧

入試種別	区分	出願期間	選考日・試験日		合格発表	入学手続
一般選抜	A日程 (全学部型)	2023年1月6日(金) ～1月19日(木)必着	2月3日(金)	音楽科 専門試験 2月2日(木)	2月14日(火)	第1次手続 2023年2月16日(木) ～2月22日(水)
	A日程 (学科特化型)		2月4日(土)			第2次手続 2023年2月28日(火) ～3月8日(水)
	B日程	2023年2月17日(金) ～2月27日(月)必着	3月7日(火) ※音楽科専門試験も同日		3月10日(金)	2023年3月13日(月) ～3月17日(金)
大学入学共通テスト 利用選抜 ^{※3}	A日程	2023年1月6日(金) ～1月19日(木)必着	音楽科専門試験: 2月2日(木)		2月14日(火)	第1次手続 2023年2月16日(木) ～2月22日(水)
	B日程	2023年2月17日(金) ～2月27日(月)必着	音楽科専門試験: 3月7日(火)		3月10日(金)	第2次手続 2023年2月28日(火) ～3月8日(水)
	C日程	2023年3月10日(金) ～3月16日(木)必着	音楽科専門試験: 3月23日(木)		3月24日(金)	2023年3月13日(月) ～3月17日(金)
						2023年3月27日(月) ～3月28日(火)

※3 大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合は、2023年1月14日(土)・15日(日)に行われる大学入学共通テストを受験してください。

インターネット出願の流れ



STEP 1 事前準備

用意するもの

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレットおよび、用意した機器から接続できるプリンターを準備してください。プリンターが自宅にない場合、コンビニエンスストアのマルチコピー機でも印刷が可能です。

②出願サイトに登録する「メールアドレス」および「顔写真」のデータファイル

普段から連絡の取りやすいメールアドレスを登録してください。顔写真データは、試験時の本人確認に使用するものを用意してください。

③「調査書等提出書類」および「郵送用封筒」

提出書類は入試ごとに異なる場合があります。募集要項等で必ず確認してください。

郵送用封筒は市販の「角2」サイズのものを使用してください。

STEP 2 出願サイトにアクセス

本学Webサイトに入学検定料払込期間中「インターネット出願サイト」へのリンクを設置します。

STEP 3 マイページを作成

①メールアドレスを登録

メールアドレスを画面の指示に従って入力し送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへアクセスし、「サイト利用規約」および「個人情報の取扱い」に関する条項を確認・同意のうえ、パスワードを登録してください。マイページが作成されます。

②顔写真データおよび基本情報を登録

マイページにログイン後、顔写真データおよび基本情報（志願者名、生年月日、出身校等）を登録してください。

STEP 4 出願内容を入力

①志望内容を入力

入試種別や志望する学科専攻など必要項目を選択してください。

②情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を既に登録している場合は、その情報が表示されます。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料の支払い後は入力したデータの変更はできません。間違いの無いよう十分確認してください。

STEP 5 入学検定料の支払い

① 支払い方法を選択

入学検定料の支払いは以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード／コンビニエンスストア／ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

※支払いには入学検定料のほか支払手数料が必要です。支払い方法によって手数料が異なります。

② 入学検定料を支払う

・クレジットカード



支払い方法を選択する画面で必要な情報を入力してください。出願登録完了時に決済されます。

・コンビニエンスストア



出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択したコンビニエンスストアで支払いをしてください。

・ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）



出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニエンスストアまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み翌々日の23:59までとなります。なお、出願期間最終日は当日の23:59までとなります。支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度マイページから出願内容を登録してください。

支払い完了後、支払完了を通知するメールが届きますので、内容を確認してください。

STEP 6 出願内容を登録

入力した出願内容および支払い方法を確認し、登録ボタンを押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。検定料の支払い方法がコンビニエンスストアまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面および申込完了メールに表示されます。

STEP 7 出願書類を郵送

① 志願票・宛名ラベルを出願する選抜分印刷

入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票・宛名ラベル」を取得して印刷してください。

② 出願書類をそれぞれ出願する選抜分準備して郵送

宛名ラベルを市販の封筒（角2サイズ）に貼付し、必要書類を同封して必ず簡易書留で郵送してください。

※一般選抜（A日程）「全学部型」・一般選抜（A日程）「学科特化型」・大学入学共通テスト利用選抜（A日程）の3つに出願する場合、調査書も含めて各選抜ごとに封筒に入れて郵送してください。

STEP 8 受験票を印刷

受験票は出願書類の受付完了後、受験票発行の通知がメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードし印刷してください。試験の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

※受験票発行の通知メールは、STEP 3で入力したメールアドレスに届きます。

一般選抜(A日程)「全学部型」

出願資格

次のいずれかに該当する女子とします。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方および2023年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2023年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

出願期間

2023年1月6日(金)～1月19日(木) 必着

インターネット出願期間 2022年12月23日(金)～2023年1月18日(水)

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。本学窓口への持参は受け付けておりません。

なお、出願期間外における出願手続はいかなる理由でも受け付けません。

出願書類

次の書類を市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、一般選抜(A日程)「全学部型」に○印をつけて必ず簡易書留で本学に郵送してください。

・ 志願票	インターネット出願サイトで入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票」をダウンロードして印刷してください。
・ 志願理由書	本学Webサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判で片面印刷のうえ必ず本人が 自筆(黒のボールペン) で記入してください。
・ 調査書または出願資格を証明する書類	<p>受験する学科数にかかわらず、提出書類は1通とします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校もしくは中等教育学校卒業者(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封されたもの)。 ・ 大学入学資格検定合格者の場合は「合格成績証明書」。 ・ 高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績の記載された「合格成績見込証明書」。 ・ 外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。 <p>※上記に該当しない方は入試広報課にお問い合わせください。</p>
・ 音楽科専門試験にかかわる書類(音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学Webサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください。

1 試験複数学科併願制について

1日(2月3日)の試験で最大3学科まで併願することができます(入学検定料は一律3万円)。教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

なお、出願の際には併願学科の優先順位を付けていただきますが、選抜は出願学科ごとに行います。

併願する際には、各出願学科の条件を満たすように科目選択してください。音楽科の場合は音楽科専門試験もすべて受験しなければなりません。

入学検定料

30,000円(最大3学科まで一律)。「全学部型」・「学科特化型」いずれか1出願で30,000円、2出願で45,000円

※教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

※入学検定料の支払方法は、P.06を参照してください。

※いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんにかかわらず返還いたしません。

受験票について

出願書類の受付完了後、受験票発行の通知がメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードして印刷してください。試験の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

※本学では、常用漢字等(JIS規格第1水準および第2水準、または全角カタカナ等)の文字種の範囲で各種書類を作成しますのでご了承ください。

試験日程 2023年2月3日(金) 受付8:30～(地方試験場は9:00～)

10:00～11:00	11:30～12:30	13:30～14:30
国語	外国語(英語)	日本史／世界史／地理／政治・経済／理科／数学

音楽科専門試験日程

試験日	試験時間	試験内容
2023年2月2日(木)	10:00～10:50	楽典
	11:20～	視唱
	13:00～(予定)	聴音(声楽コースを除く)
	14:00～(予定)	専攻実技 副科ピアノ(ピアノ専攻、オルガン専攻を除く)

※音楽科専門試験の受付時間等の詳細は、別途お送りする受験案内を参照してください。

試験場 P.33の案内図を参照してください。

本学	宮城学院女子大学	仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号
地方試験場	青森	青森県観光物産館アスパム 青森市安方1丁目1-40
	秋田	秋田県総合保健センター 秋田市千秋久保田町6番6号
	盛岡	岩手教育会館 盛岡市大通1丁目1番16号
	郡山	郡山市労働福祉会館 郡山市虎丸町7番7号
	山形	ヤマコーホール(山交ビル7階) 山形市香澄町3丁目2番1号

※音楽科の試験場は本学のみとします

試験科目

学 科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点	試験時間
現代ビジネス学科 教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻 生活文化デザイン学科 日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科	国 語	国語総合(漢文は除く)	必須(100点) ※日本文学科は200点	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	必須(100点) ※英文学科は200点	60分
	日本史	日本史B	いずれか1科目選択 (100点)	60分
	世界史	世界史B		
	地 理	地理B		
	政治・経済	政治・経済		
	理 科	化学基礎および生物基礎		
	数 学	数学I・数学A		
食品栄養学科	国 語	国語総合(漢文は除く)	必須(100点)	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	必須(100点)	60分
	理 科	化学基礎および生物基礎	必須(100点)	60分
音楽科	国 語	国語総合(漢文は除く)	必須(100点)	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	必須(100点)	60分
	音楽科専門試験	音楽科専門試験要項(P.23参照)	必須(300点)	(P.08参照)

1時間目「国語」について

- ・「国語」は全学部必須です。思考力、判断力および表現力を評価するために、記述式と選択式問題を併用しています。
- ・「国語」は3問出題され、うち1・2問目は各学科共通の現代文です。3問目は古文と現代文からの選択問題として出題されますが、日本文学科は古文が必須で、それ以外の学科は古文か現代文を選択することができます。(日本文学科の受験生が現代文を選択した場合、失格となります)

例1 日本文学科と人間文化学科を併願する場合	例2 現代ビジネス学科と英文学科を併願する場合
<ul style="list-style-type: none"> ●古文を選択⇒両学科の要件を満たします ●現代文を選択⇒日本文学科は失格となります 	<ul style="list-style-type: none"> ●現代文と古文のいずれを選択しても構いません

2時間目「外国語(英語)」について

- ・解答用紙はマークシート方式となります。

3時間目「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」「理科」「数学」の選択について

- ・各科目とも、思考力と表現力を評価するために、記述式問題を含みます。
- ・3時間目の試験科目は上表のとおり学科により異なりますが、複数学科を併願する受験生は、志願学科のすべての要件を満たすよう選択しなければなりません。

例1 食品栄養学科と生活文化デザイン学科を併願する場合	例2 教育学科幼児教育専攻と音楽科を併願する場合
<ul style="list-style-type: none"> ●「理科」を選択⇒両学科の要件を満たします ●「政治・経済」を選択⇒食品栄養学科は失格となります 	<ul style="list-style-type: none"> ●3時間目の選択科目試験を受験してください ●2023年2月2日(木)音楽科専門試験を必ず受験してください

なお、試験の際にはすべての科目の問題用紙・解答用紙が配布されますが、解答を記入する際は、自分が選択する科目の解答用紙であることを確認してください。

選抜方法

- ・原則として、試験教科・科目の総合点により選抜します。
- ・選択科目について、科目間で得点に開きがあった場合には、調整を行うことがあります。

受験上の注意

持参するもの

- ・受験票
- ・筆記用具(鉛筆、消しゴム)
- ・時計《携帯電話等は使用不可》

入室時間

- ・試験室には試験開始時刻15分前までに入室してください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入室は原則として認められません。
- ・公共交通機関の遅れなど、不可抗力によって遅刻する場合は、入試広報課に連絡してください。

試験科目

- ・試験科目のうち1科目でも受験しない場合は、入学者選抜の対象とはなりません。

その他

- ・試験室ではすべて試験監督者の指示にしたがってください。
- ・試験当日、昼食等が必要な場合は各自持参し、指定される自席でおとりください。
- ・上履きは必要ありません。
- ・試験会場の下見はできません。
- ・不正行為等を行った場合は失格となります。
- ・付添者は構内に入ることができません(原則として、付添者控室を設置いたしません)。

合格発表

2023年2月14日(火)13:30(予定)

発表日当日、合格者に速達郵便で発送します。

また、補助的な手段として、インターネットによる合否発表システムも利用できますが(P.21参照)、正式には合格者に送付する「合格通知書」でご確認ください。

(本学への電話による問い合わせには一切応じられません)

入学手続

第一次手続期間	2023年2月16日(木)～2月22日(水)	入学金(入学申込金)を納入
第二次手続期間	2023年2月28日(火)～3月 8日(水)	入学金を除く入学時納付金を納入

上記の期間内に「入学時納付金(P.22参照)」を銀行窓口で納入してください。入学手続は上記のとおり2回に分けますが、**第一次手続期間内に一括納入もできます。**

ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。また、ゆうちょ銀行は使用できません。

入学手続の詳細については「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

期間内に入学手続をしない場合は、入学の意思がないものとみなします。

なお、入学手続を完了した後で入学辞退を希望する場合は、入学金を除く納付金を「入学辞退願書・授業料等返還願書」の申請にもとづき返還します。申請の期限は**2023年3月31日(金)まで**とします。

一般選抜(A日程)「学科特化型」

出願資格

次のいずれかに該当する女子とします。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方および2023年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2023年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

出願期間

2023年1月6日(金)～1月19日(木) 必着

インターネット出願期間 2022年12月23日(金)～2023年1月18日(水)

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。本学窓口への持参は受け付けておりません。

なお、出願期間外における出願手続はいかなる理由でも受け付けません。

出願書類

次の書類を市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、一般選抜(A日程)「学科特化型」に○印をつけて必ず簡易書留で本学に郵送してください。

・ 志願票	インターネット出願サイトで入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票」をダウンロードして印刷してください。
・ 志願理由書	本学Webサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判で片面印刷のうえ必ず本人が 自筆(黒のボールペン) で記入してください。
・ 調査書または出願資格を証明する書類	<p>受験する学科数にかかわらず、提出書類は1通とします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校もしくは中等教育学校卒業者(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封されたもの)。 ・ 大学入学資格検定合格者の場合は「合格成績証明書」。 ・ 高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績の記載された「合格成績見込証明書」。 ・ 外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。 <p>※上記に該当しない方は入試広報課にお問い合わせください。</p>
・ 音楽科専門試験にかかわる書類(音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学Webサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください。

学科特化型について

1日(2月4日)の試験で受験可能なのは1学科(専攻)となります(入学検定料は3万円)。教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

入学検定料

30,000円(「全学部型」・「学科特化型」いずれか1出願で30,000円、2出願で45,000円)

※教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

※入学検定料の支払方法は、P.06を参照してください。

※いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんにかかわらず返還いたしません。

受験票について

出願書類の受付完了後、受験票発行の通知がメールが届きます。マイページから「受験票」をダウンロードして印刷してください。試験の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

※本学では、常用漢字等(JIS規格第1水準および第2水準、または全角カタカナ等)の文字種の範囲で各種書類を作成しますのでご了承ください。

試験日程 2023年2月4日(土) 受付8:30～(地方試験場は9:00～)

10:00～11:00	11:30～12:30	13:30～14:30
国語	外国語(英語)	日本史／世界史／地理／政治・経済／理科／数学

音楽科専門試験日程

試験日	試験時間	試験内容
2023年2月2日(木)	10:00～10:50	楽典
	11:20～	視唱
	13:00～(予定)	聴音(声楽コースを除く)
	14:00～(予定)	専攻実技 副科ピアノ(ピアノ専攻、オルガン専攻を除く)

※音楽科専門試験の受付時間等の詳細は、別途お送りする受験案内を参照してください。

試験場 P.33の案内図を参照してください。

本学	宮城学院女子大学	仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号
地方試験場	青森	青森県観光物産館アスパム 青森市安方1丁目1-40
	秋田	秋田県総合保健センター 秋田市千秋久保田町6番6号
	盛岡	岩手教育会館 盛岡市大通1丁目1番16号
	郡山	郡山市労働福祉会館 郡山市虎丸町7番7号
	山形	ヤマコーホール(山交ビル7階) 山形市香澄町3丁目2番1号

※音楽科の試験場は本学のみとします

試験科目

学 科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点	試験時間
現代ビジネス学科 教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻 生活文化デザイン学科 日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科	国 語	国語総合(漢文は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 現代ビジネス学科、教育学科(幼児教育専攻・児童教育専攻・健康教育専攻)、生活文化デザイン学科、人間文化学科、心理行動科学科 「国語」必須(100点)、「外国語」必須(100点)、その他6科目から1科目(100点)を選択 日本文学科 「国語」必須(200点)、「外国語」必須(100点)、その他6科目から1科目(100点)を選択 英文学科 「国語」必須(100点)、「外国語」必須(200点)、その他6科目から1科目(100点)を選択 	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、英語表現I、II		60分
	日本史	日本史B		60分
	世界史	世界史B		
	地 理	地理B		
	政治・経済	政治・経済		
	理 科	化学基礎および生物基礎		
	数 学	数学I・数学A		
食品栄養学科	国 語	国語総合(漢文は除く)	必須(100点) } いずれか高得点科目 必須(100点) } を合否判定に採用	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、英語表現I、II		60分
	理 科	化学基礎および生物基礎		60分
音楽科	国 語	国語総合(漢文は除く)	必須(100点) } いずれか高得点科目 必須(100点) } を合否判定に採用	60分
	外国語	コミュニケーション英語I、II、III、英語表現I、II		60分
	音楽科 専門試験	音楽科専門試験要項 (P.23参照)		必須(300点)

1時間目「国語」について

- ・「国語」は全学科必須です。思考力、判断力および表現力を評価するために、記述式と選択式問題を併用しています。
- ・「国語」は3問出題され、うち1・2問目は各学科共通の現代文です。3問目は古文と現代文からの選択問題として出題されますが、日本文学科は古文が必須で、それ以外の学科は古文か現代文を選択することができます。(日本文学科の受験生が現代文を選択した場合、失格となります)

2時間目「外国語(英語)」について

- ・解答用紙はマークシート方式となります。

3時間目「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」「理科」「数学」の選択について

- ・各科目とも、思考力と表現力を評価するために、記述式問題を含みます。
- ・3時間目の試験科目は上表のとおり学科により異なりますが、志願学科の要件を満たすよう選択しなければなりません。

なお、試験の際にはすべての科目の問題用紙・解答用紙が配布されますが、解答を記入する際は、自分が選択する科目の解答用紙であることを確認してください。

選抜方法

- ・試験科目3科目必須ですが、学科が指定する2科目の総合点で選抜します。
 食品栄養学科：「理科」および、国語または外国語の高得点の科目
 日本文学科：「国語」および、外国語またはその他選択科目の高得点の科目
 英文学科：「英語」および、国語またはその他選択科目の高得点の科目
 音楽科：「音楽科専門試験」および、国語または外国語の高得点の科目
 その他の学科：3科目のうち高得点の2科目
- ・必須科目または選択科目を受験しなかった場合は、選抜の対象となりません。

受験上の注意

持参するもの

- ・受験票
- ・筆記用具(鉛筆、消しゴム)
- ・時計〈携帯電話等は使用不可〉

入室時間

- ・試験室には試験開始時刻15分前までに入室してください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入室は原則として認められません。
- ・公共交通機関の遅れなど、不可抗力によって遅刻する場合は、入試広報課に連絡してください。

試験科目

- ・試験科目のうち1科目でも受験しない場合は、入学者選抜の対象とはなりません。

その他

- ・試験室ではすべて試験監督者の指示にしたがってください。
- ・試験当日、昼食等が必要な場合は各自持参し、指定される自席でおとりください。
- ・上履きは必要ありません。
- ・試験会場の下見はできません。
- ・不正行為等を行った場合は失格となります。
- ・付添者は構内に入ることができません(原則として、付添者控室を設置いたしません)。

合格発表

2023年2月14日(火)13:30(予定)

発表日当日、合格者に速達郵便で発送します。

また、補助的な手段として、インターネットによる合否発表システムも利用できますが(P.21参照)、正式には合格者に送付する「合格通知書」でご確認ください。

(本学への電話による問い合わせには一切応じられません)

入学手続

第一次手続期間	2023年2月16日(木)～2月22日(水)	入学金(入学申込金)を納入
第二次手続期間	2023年2月28日(火)～3月 8日(水)	入学金を除く入学時納付金を納入

上記の期間内に「入学時納付金(P.22参照)」を銀行窓口で納入してください。入学手続は上記のとおり2回に分けますが、**第一次手続期間内に一括納入もできます。**

ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。また、ゆうちょ銀行は使用できません。

入学手続の詳細については「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

期間内に入学手続をしない場合は、入学の意思がないものとみなします。

なお、入学手続を完了した後で入学辞退を希望する場合は、入学金を除く納付金を「入学辞退願書・授業料等返還願書」の申請にもとづき返還します。申請の期限は**2023年3月31日(金)まで**とします。

一般選抜(B日程)

出願資格

- ①～③のいずれかに該当する女子とします。
- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方および2023年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2023年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

出願期間 2023年2月17日(金)～2月27日(月) 必着

インターネット出願期間 2023年2月10日(金)～2023年2月24日(金)

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。本学窓口への持参は受け付けておりません。

なお、出願期間外における出願手続はいかなる理由でも受け付けません。

出願書類

次の書類を市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、一般選抜(B日程)に○印をつけて必ず簡易書留で本学に郵送してください。

・ 志願票	インターネット出願サイトで入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票」をダウンロードして印刷してください。
・ 志願理由書	本学Webサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判で片面印刷のうえ必ず本人が 自筆(黒のボールペン) で記入してください。
・ 調査書または出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校もしくは中等教育学校卒業生(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封されたもの)。 ・ 大学入学資格検定合格者の場合は「合格成績証明書」。 ・ 高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績の記載された「合格成績見込証明書」。 ・ 外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。 ※上記に該当しない方は入試広報課にお問い合わせください。
・ 音楽科専門試験にかかわる書類(音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学Webサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください。

併願について

午前の部と午後の部あわせて最大3学科まで併願することができます(入学検定料は一律3万円)。教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。ただし、午後の部の食品栄養学科と音楽科との2学科を併願することはできません。

なお、出願の際には併願学科の優先順位を付けていただきますが、選抜は出願学科ごとに行います。

入学検定料

30,000円(最大3学科まで一律)

※入学検定料の支払方法は、P.06を参照してください。

※教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

※いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんにかかわらず返還いたしません。

受験票について

出願書類の受付完了後、受験票発行の通知がメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードして印刷してください。試験の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

※本学では、常用漢字等(JIS規格第1水準および第2水準、または全角カタカナ等)の文字種の範囲で各種書類を作成しますのでご了承ください。

試験日程

2023年3月7日(火)

	受付開始	試験開始
午前の部	9:00	10:00
午後の部	12:30	13:30

試験科目

	学 科	試験科目	必須・選択の別と配点	試験時間
午 前 の 部	現代ビジネス学科 教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻 生活文化デザイン学科 日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科	・国語 (国語総合※漢文は除く) ・外国語 (コミュニケーション英語I、 II、III、英語表現I、II) ・小論文A (文章読解型) ・小論文B (資料総合分析型)	●現代ビジネス学科 「国語」「外国語」の2科目選択または小論文A・B の2つを選択(各科目100点) ●教育学科(幼児教育専攻・児童教育専攻・健康教 育専攻)、生活文化デザイン学科、人間文化学科、 心理行動科学科 左の4科目から2科目選択(各科目100点) (小論文A、Bの2つを選択することも可) ●日本文学科 「国語」必須(200点) 左の残り3科目から1科目選択(100点) ●英文学科 「外国語」必須(200点) 左の残り3科目から1科目選択(100点)	2科目 あわせて 120分
	午 後 の 部	食品栄養学科 音楽科	・理科(化学基礎および生 物基礎) ・書類選考 ・音楽科専門試験 ・書類選考	理科科目試験(70%) 書類選考(30%) 音楽科専門試験(P.24参照)(70%) 書類選考(30%)

(注4)試験時間等については、願書受付後、別途お送りする書類でお知らせします。

「国語」について

- ・「国語」は思考力、判断力および表現力を評価するために、記述式と選択式問題を併用しています。
- ・「国語」は3問出題され、うち1・2問目は各学科共通の現代文です。3問目は古文と現代文からの選択問題として出題されますが、日本文学科は古文が必須で、それ以外の学科は古文か現代文を選択することができます。(日本文学科の受験生が現代文を選択した場合、失格となります)

「外国語(英語)」について

- ・解答用紙はマークシート方式となります。

「小論文A」「小論文B」について

- ・小論文は様々な文献・資料を読み、そこから読み取れる事実を的確に把握する力や、自分の考えを明確に表現する力を評価する記述式総合問題です。

試験場

本学(地方試験場はありません)

選抜方法

- ・書類選考は調査書の評定値を重視します。
- ・原則として、試験教科・科目（食品栄養学科と音楽科は書類選考を含む）の総合点により選抜します。

受験上の注意

持参するもの

- ・受験票 ・筆記用具（鉛筆、消しゴム） ・時計《携帯電話等は使用不可》

入室時間

- ・試験室には試験開始時刻15分前までに入室してください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入室は原則として認められません。
- ・公共交通機関の遅れなど、不可抗力によって遅刻する場合は、入試広報課に連絡してください。

試験科目

- ・試験科目のうち1科目でも受験しない場合は、入学者選抜の対象とはなりません。

その他

- ・試験室ではすべて試験監督者の指示にしたがってください。
- ・試験当日、昼食等が必要な場合は各自持参し、指定される自席でおとりください。
- ・上履きは必要ありません。
- ・試験会場の下見はできません。
- ・不正行為等を行った場合は失格となります。
- ・付添者は構内に入ることができません（原則として、付添者控室を設置いたしません）。

合格発表

2023年3月10日（金） 13:30（予定）

発表日当日、合格者に速達郵便で発送します。

また、補助的な手段として、インターネットによる合否発表システムも利用できますが（P.21参照）、正式には合格者に送付する「合格通知書」をご確認ください。

（本学への電話による問い合わせには一切応じられません）

追加合格について

本学では追加合格候補者に対し、合格発表時に本人宛に速達郵便で通知します。

入学手続者数に欠員が生じた場合にのみ、成績順に追加合格候補者の中から追加合格者を決定し、追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類を速達で郵送します。

追加合格候補者の入学許可状況等についての問い合わせには一切応じられません。

入学手続

2023年3月13日（月）～3月17日（金）

上記の期間内に「**入学時納付金**（P.22参照）」を銀行窓口で一括納入してください。

ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。また、ゆうちょ銀行は利用できません。

入学手続の詳細については「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

期間内に入学手続をしない場合は、**入学の意思がないものとみなします。**

なお、入学手続を完了した後で入学辞退を希望する場合は、入学金を除く納付金を「入学辞退願書・授業料等返還願書」の申請にもとづき返還します。申請の期限は**2023年3月31日（金）まで**とします。

大学入学共通テスト利用選抜(A・B・C日程)

※大学入学共通テスト利用選抜(A日程)においては、学業特待生の選考を行います(P.20参照)。

出願資格

- ①～③のいずれかに該当し、かつ④に該当する女子とします。
- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方および2023年3月卒業見込みの方。
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2023年3月修了見込みの方。
 - ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの方。
 - ④令和5年度大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験している方。(前年度の「大学入学共通テスト利用選抜」の成績は利用できません)

出願期間

	出願日程	インターネット出願期間
A日程	2023年1月 6日(金)～1月19日(木) 必着	2022年12月23日(金)～2023年1月18日(水)
B日程	2023年2月17日(金)～2月27日(月) 必着	2023年 2月10日(金)～2023年2月24日(金)
C日程	2023年3月10日(金)～3月16日(木) 必着	2023年 3月 3日(金)～2023年3月15日(水)

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。本学窓口への持参は受け付けておりません。

なお、出願期間外における出願手続はいかなる理由でも受け付けません。

出願書類

次の書類を市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、出願する選抜に○印をつけて必ず簡易書留で本学に郵送してください。

・ 志願票	インターネット出願サイトで入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票」をダウンロードして印刷してください。
・ 志願理由書	本学Webサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判で片面印刷のうえ必ず本人が自筆(黒のボールペン)で記入してください。
・ 調査書または出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none">・ 高等学校もしくは中等教育学校卒業者(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封されたもの)。・ 大学入学資格検定合格者の場合は「合格成績証明書」。・ 高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績の記載された「合格成績見込証明書」。・ 外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。 ※上記に該当しない方は入試広報課にお問い合わせください。
・ 音楽科専門試験にかかわる書類(音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学Webサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください。

併願について

大学入学共通テスト利用選抜では、各選抜日程ごとに2学科まで併願することができます(入学検定料は一律15,000円)。教育学科の各専攻は、それぞれ1学科とみなします。

なお、出願の際には併願学科の優先順位を付けていただきますが、選抜は出願学科ごとに行います。出願する際には、各出願学科が指定する教科、科目を受験していることを確認してください。

また、一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜の両方への出願も可能です。

入学検定料 15,000円(2学科まで一律)

※入学検定料の支払方法は、P.06を参照してください。

※いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんにかかわらず返還いたしません。

受験票(受理票)について

出願書類の受付完了後、受験票発行の通知がメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードして印刷してください。試験の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

※本学では、常用漢字等(JIS規格第1水準および第2水準、または全角カタカナ等)の文字種の範囲で各種書類を作成しますのでご了承ください。

選抜方法

- ・選抜は、大学入学共通テストの結果に基づいて行われ、音楽科以外の学科については個別学力検査を行いません。
- ・音楽科については、大学入学共通テストの結果および本学独自に行う音楽科専門試験の成績により選抜します。
- ・原則として、各学科とも試験教科・科目の総合点により選抜します。

本学が指定する大学入学共通テスト教科・科目と配点

学 科	教 科	科 目	必須・選択の別と配点
現代ビジネス学科 教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻 生活文化デザイン学科 日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	必須 ●日本文学科を除く各学科(100点)
		「国語」(漢文は除く)	必須 ●日本文学科(150点)
	外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング)	必須 ●英文学科(200点) ●英文学科を除く各学科(100点)(注5)
	地理歴史・公民	「日本史B」「世界史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	左記から1科目選択(100点)(注6)
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」	
	理 科	「化学基礎」「生物基礎」「物理基礎」から2科目 または「化学」「生物」「物理」から1科目	
食品栄養学科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	必須(100点)
	外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング)	必須(100点)(注5)
	理 科	「化学基礎」「生物基礎」の2科目 または「化学」「生物」から1科目	必須(100点)(注6)
音楽科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	必須(100点)
	外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング)	必須(100点)(注5)
	地理歴史・公民	「日本史B」「世界史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	左記から1科目選択(100点)(注6)
	音楽科専門試験	音楽科専門試験要項(P.24)参照	必須(100点)

(注5)「英語」(大学入学共通テストでは200点満点)は100点満点に換算します。

(注6)大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の科目を採用します。

試験日程

音楽科専門試験日程

試験場:本学(地方試験場はありません)

	試験日	試験内容
A日程	2023年2月 2日(木)	専攻実技
B日程	2023年3月 7日(火)	副科ピアノ
C日程	2023年3月23日(木)	(ピアノ専攻、オルガン専攻を除く)

合格発表

A日程	2023年2月14日(火) 13:30(予定)	発表日当日、合格者に速達郵便で発送します。 また、補助的な手段として、インターネットによる合否発表システムも利用できますが(P.21参照)、正式には合格者に送付する「合格通知書」をご確認ください。 (本学への電話による問い合わせには一切応じられません)
B日程	2023年3月10日(金) 13:30(予定)	
C日程	2023年3月24日(金) 13:30(予定)	

追加合格について

本学では追加合格候補者に対し、合格発表時に本人宛に速達郵便で通知します。

入学手続者数に欠員が生じた場合にのみ、成績順に追加合格候補者の中から追加合格者を決定し、追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類を速達で郵送します。

追加合格候補者の入学許可状況等についての問い合わせには一切応じられません。

入学手続

A日程	第一次手続	2023年2月16日(木)~2月22日(水)	入学金(入学申込金)を納入
	第二次手続	2023年2月28日(火)~3月 8日(水)	入学金を除く入学時納付金を納入
B日程(一括手続)		2023年3月13日(月)~3月17日(金)	入学時納付金を納入
C日程(一括手続)		2023年3月27日(月)~3月28日(火)	入学時納付金を納入

上記の期間内に「入学時納付金(P.22参照)」を銀行窓口で納入してください。A日程の入学手続は上記のとおり2回に分けますが、第一次手続期間内に一括納入もできます。

ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。また、ゆうちょ銀行は利用できません。

入学手続の詳細については「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

期間内に入学手続をしない場合は、入学の意思がないものとみなします。

なお、入学手続を完了した後で入学辞退を希望する場合は、入学金を除く納付金を「入学辞退願書・授業料等返還願書」の申請にもとづき返還します。申請の期限は**2023年3月31日(金)まで**とします。

学業特待生の選考について

※大学入学共通テスト利用選抜(A日程)の合格者、または総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者のうち大学入学共通テストを受験した方を対象とします。

成績優秀な新生に奨学金を給付する制度です(返済の必要はありません)。

次の3項目すべてを満たす方が対象となります。

- ①本学が指定する3科目の合計得点率75%以上
- ②各学科の成績上位3位以内
- ③入学手続において一括または第一次手続を完了

本学において総合的な選考を行い、2月28日(火)までに本学Webサイト上で特待生候補者の決定を発表した上で候補者の方へ郵送にて通知します。

なお、毎年進級時に成績状況等(成績のほか、学業・課外活動等で他の模範となる者)をもとに継続審査を行い、最大4年間適用されます。

Web合否発表の利用方法

Webサイトで合否結果を閲覧することができます。パソコン、スマートフォン等から以下の手順に沿ってご確認ください。

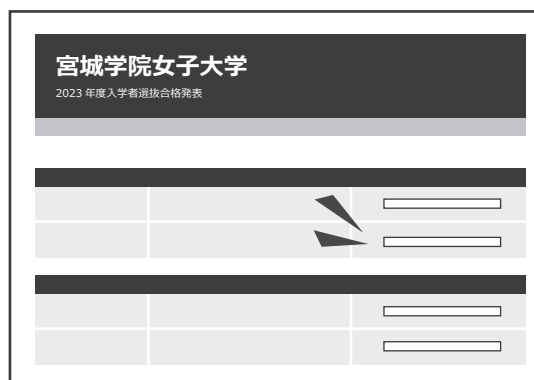
STEP.1 合否発表サイトにアクセス

下記のURLを直接ご入力、もしくはQRコードを読み取り、合否発表サイトにアクセスしてください。本学Webサイトにも合否発表サイトへのリンクを設置しています。



STEP.2 受験した入試種別・区分の「結果をみる」をクリック

合否結果確認期間中、「結果をみる」ボタンが表示されます。



STEP.3 受験番号と生年月日を入力

受験番号（6桁）と生年月日（8桁）を入力し、ログインしてください。

STEP.4 合否結果

画面に表示された合否結果を確認してください。

注意事項

- ・当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法並びに合否の結果に関し、電話でのお問合せには応じかねます。
- ・パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。

納付金

2023年度納付金額に関しては、合格時に送付する入学手続要項をご覧ください。
 (注)一般選抜(B日程)合格者および大学入学共通テスト利用選抜(B日程・C日程)合格者の場合は、入学時納付金は一括納付となります。

【参考】2022年度納付金明細表

(単位:円)

科 目	教育学部教育学科				生活科学部			学芸学部			
	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	幼児教育専攻	児童教育専攻	健康教育専攻	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
授業料	378,500	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
演奏実技運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159,000
実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500	20,000	12,000	12,000	12,000	30,000	7,500
楽器使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,500
施設設備資金	95,000	95,000	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
グループ研修費	8,000	3,000	0	3,000	2,300	1,500	2,000	4,000	12,000	12,000	1,300
循環器等検査料	4,050	10,870	4,050	10,870	4,050	4,050	4,050	4,050	4,050	4,050	4,050
大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
学生会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,200	1,500	3,000	2,500	2,000	4,500	1,300
学生災害掛金	3,300	3,300	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
計	753,850	772,170	762,350	772,170	816,920	807,350	720,850	722,350	729,850	775,850	1,160,950
授業料	378,500	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
演奏実技運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159,000
実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500	0	0	12,000	0	0	7,500
楽器使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,500
施設設備資金	95,000	95,000	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
計	493,500	510,000	510,000	510,000	562,500	533,500	453,000	465,000	453,000	478,500	817,500
年額合計	1,247,350	1,282,170	1,272,350	1,282,170	1,379,420	1,340,850	1,173,850	1,187,350	1,182,850	1,254,350	1,978,450

※2年次以降の納付金は、年額納付金合計から入学金を引いた金額が目安です。

※授業料等の納付金以外に、教科書代、資格取得に関わる実習費が別途必要になります。

音楽科専門試験要項

一般選抜(A日程) 試験科目一覧 ※全学部型・学科特化型共通

		専攻実技	共通科目				
器楽コース	ピアノ	Pf-1	副Pf	聴音	視唱	楽典	
	オルガン	Org-1					
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ					VnVa
		チェロ					Vc
		コントラバス					Cb
	管楽器	フルート					Fl
		オーボエ					Ob
		クラリネット					Cl-1
		サクソフォーン					Sax
		ファゴット					Fg
		ホルン					Hr
		トランペット					Trp
		トロンボーン					Tbn
		ユーフォニアム					Euph
チューバ		Tuba					
打楽器	Perc						
声楽コース	Vo-1						
作曲コース	Comp		聴音				

大学入学共通テスト利用選抜(A日程) 試験科目一覧

		専攻実技	共通科目	
器楽コース	ピアノ	Pf-1	副Pf	
	オルガン	Org-1		
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ		VnVa
		チェロ		Vc
		コントラバス		Cb
	管楽器	フルート		Fl
		オーボエ		Ob
		クラリネット		Cl-1
		サクソフォーン		Sax
		ファゴット		Fg
		ホルン		Hr
		トランペット		Trp
		トロンボーン		Tbn
		ユーフォニアム		Euph
チューバ		Tuba		
打楽器	Perc			
声楽コース	Vo-1			
作曲コース	Comp			

一般選抜(B日程) 大学入学共通テスト利用選抜(B日程) 試験科目一覧

		専攻実技	共通科目	
器楽コース	ピアノ	Pf-2	副Pf	
	オルガン	Org-2		
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ		VnVa
		チェロ		Vc
		コントラバス		Cb
	管楽器	フルート		Fl
		オーボエ		Ob
		クラリネット		Cl-2
		サクソフォーン		Sax
		ファゴット		Fg
		ホルン		Hr
		トランペット		Trp
		トロンボーン		Tbn
		ユーフォニアム		Euph
チューバ		Tuba		
打楽器	Perc			
声楽コース	Vo-2			
作曲コース	Comp			

大学入学共通テスト利用選抜(C日程) 試験科目一覧

		専攻実技	共通科目	
器楽コース	ピアノ	Pf-3	副Pf	
	オルガン	Org-2		
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ		VnVa
		チェロ		Vc
		コントラバス		Cb
	管楽器	フルート		Fl
		オーボエ		Ob
		クラリネット		Cl-2
		サクソフォーン		Sax
		ファゴット		Fg
		ホルン		Hr
		トランペット		Trp
		トロンボーン		Tbn
		ユーフォニアム		Euph
		チューバ		Tuba
打楽器	Perc			
声乐コース	Vo-2			
作曲コース	Comp			

注意事項

一般選抜(A日程・B日程)大学入学共通テスト利用選抜 (A日程・B日程・C日程)すべてに共通

※願書提出時の注意

1. 曲目届出票に必要な事項を記入し提出すること。
2. 演奏するすべての曲(音階を除く)に関して、演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること。ただし、Pf-1、Pf-2、Pf-3、副Pfについては、コピーは楽譜冒頭1ページのみでよい。
Cl-1、Hr、Trp、Tuba、Percの⑥については、楽譜のコピーを提出する必要はない。
印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。氏名は記入しないこと。
3. 声乐コースを志願する場合は、伴奏用楽譜を添付すること。1ページのサイズをA4版とし、所定の方法(P.10参照)にしたがって製本すること。氏名は記入しないこと。

※受験上の注意

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
詳細については、受験票発送時に連絡する。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻(サクソフォーン)を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 管楽器専攻(トロンボーン)を受験する場合、テナートロンボーンまたはバストロンボーンでの受験を可とする。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリンバを使用すること。
- 打楽器専攻を⑥で受験する場合、小太鼓を持参すること。スタンドは本学のものを使用できる。やむを得ない理由で小太鼓を持参できない場合、本学の小太鼓を使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 作曲コースを受験する場合、定規の使用を認める。

器楽コース

ピアノ専攻	
Pf-1	<p>(a) (b) (c)いずれも暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。</p> <p>(a) 下記の練習曲集の中から1曲を選択し演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Czerny : 50番練習曲 作品740 ● Clementi=Tausig : グラドス・アド・バルナッスム ● Cramer=Bülow : 60の練習曲 ● Moszkowski : 15の練習曲 作品72 ● Chopin : 練習曲 作品10(ただしNo.3、No.6は除く) ● Chopin : 練習曲 作品25(ただしNo.7は除く) <p>(b) 下記のJ.S.Bachの作品より1曲を選択し演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シンフォニア(3声のインヴェンション) ● 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻の中からフーガのみ <p>(c) 下記の作曲家によるソナタの中から1曲を選択し、第1楽章または終楽章を演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J.Haydn ● W.A.Mozart ● L.v.Beethoven(ただし、作品49の1と2、および作品101以降のものは除く)
Pf-2	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。</p> <p>(a) 下記の練習曲集の中から1曲を選択し演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Czerny : 50番練習曲 作品740 ● Clementi=Tausig : グラドス・アド・バルナッスム ● Cramer=Bülow : 60の練習曲 ● Moszkowski : 15の練習曲 作品72 ● Chopin : 練習曲 作品10(ただしNo.3、No.6は除く) ● Chopin : 練習曲 作品25(ただしNo.7は除く) <p>(b) 下記の作曲家によるソナタの中から1曲を選択し、第1楽章または終楽章を演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J.Haydn ● W.A.Mozart ● L.v.Beethoven(ただし、作品49の1と2、および作品101以降のものは除く)
Pf-3	<p>J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethovenの任意のソナタより第1楽章または終楽章、あるいはロマン派以降の自由曲から1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。</p>

オルガン専攻	
Org-1	<p>①②のいずれかを選択し、受験すること。</p> <p>①パイプオルガンで受験する場合</p> <p>17～18世紀の作曲家のオルガン作品から、次の(a) (b)の各1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>(a) コラール作品：1曲 (b) コラール以外の作品：1曲</p> <p>暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。</p> <p>コラールは繰り返しをし、(a) (b) 2曲合わせて10分程度の演奏とすること。</p> <p>②ピアノで受験する場合</p> <p>J.S.Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。</p>
Org-2	<p>①②のいずれかを選択し、受験すること。</p> <p>①パイプオルガンで受験する場合</p> <p>自由曲：1曲 暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。</p> <p>②ピアノで受験する場合</p> <p>J.S.Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。</p>

弦楽器〔ヴァイオリン・ヴィオラ〕専攻

VnVa	ヴァイオリン専攻
	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階と分散和音(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>
VnVa	ヴィオラ専攻
	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>ヴィオラ専攻受験者はヴァイオリンでの受験も可。その場合は、ヴァイオリン専攻の課題曲(a) (b)を受験すること。</p> <p>(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>

弦楽器〔チェロ〕専攻

Vc	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) J. S. Bach : 無伴奏チェロ組曲第1番から第3番よりいずれかを選択し、その中の任意の1曲を演奏すること。繰り返しは省略すること。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>
----	--

弦楽器〔コントラバス〕専攻

Cb	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) ト長調で2オクターヴの音階を以下の譜例の形で演奏すること(暗譜で演奏すること)。</p>
	<p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>



管楽器〔フルート〕専攻

Fl	(a) (b)を演奏すること。
	(a)「アルテフルート教則本」第3巻(Japan Flute Club版 比田井洵編著)の16～18ページより、音階(長音階と短音階)と分散和音(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。
	(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔オーボエ〕専攻

Ob	(a) (b)を演奏すること。
	(a) 2オクターヴの音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
	(b) W.Ferling : 48 Übungen für Oboe Op.31 のNo.1からNo.12より1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔クラリネット〕専攻

Cl-1	(a) (b)を演奏すること。
	(a) Rolf Eichler : Scales for Clarinet 第1番(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。
	(b) Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-Dur Op.26 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。 当日に演奏する箇所を指定することがある。
Cl-2	(a) (b)を演奏すること。
	(a) Rolf Eichler : Scales for Clarinet 第1番(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。
	(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔サクソフォーン〕専攻

Sax	(a) (b)を演奏すること。
	(a) Yo Matsushita : Perfect Scale for Saxophone Vol. I BASICの7～8ページより、音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。繰り返しは省略すること。
	(b) W.Ferling : 48 Etudes (Leduc版)より、任意の奇数番号1曲と、任意の偶数番号1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔ファゴット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

- (a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。
〔譜例(F-Durの場合)〕

Fg



- (b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ホルン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

- (a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長調 As-Dur、A-Dur、B-Dur、C-Dur の中より、当日指定する。
短調 a-Moll、b-Moll、h-Moll、c-Moll の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より当日指定する。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

Hr



- (b) W.A.Mozart : Horn Concerto No.3 K447より第1楽章
カデンツァはなし。版の指定はない。
無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。
当日に演奏箇所を指定する。

管楽器〔トランペット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

- (a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

Trp



- (b) J.B.Arban : Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 所収
12の幻想曲とアリア No.3 Fantaisie Brillanteより主題と変奏曲 I・II
序奏はなし。版の指定はない。
無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔トロンボーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

長調 B-Dur、A-Dur、G-Dur、F-Dur の中より、当日指定する。

短調 g-Moll、f-Moll の中より、当日指定する。

短調は旋律的短音階で演奏すること。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

〔譜例(B-Durの場合)〕

Tbn

♩=60

(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ユーフォニアム〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

F-Durとd-Moll、B-Durとg-Moll、Es-Durとc-Moll、As-Durとf-Moll、C-Durとa-Moll、G-Durとe-Moll の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。

〔譜例(F-Durの場合)〕

Euph

♩=60

(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

あるいはJoannes Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book I (Carl Fischer 版)のNo.2からNo.9より任意の1曲。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔チューバ〕専攻

Tuba	<p>(a) (b) (c)を演奏すること。</p> <p>(a) 以下の譜例を参考にして音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 調号# ♭ 共に3つまでの調より、当日指定する。 短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。 〔譜例(F-Durの場合)〕</p>  <p>(b) M.Bordogni : 43 Bel Canto StudiesのNo.1、No.4より、当日1曲指定する。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。</p> <p>(c) V.Blazhevich : 70 Etudes Vol.IのNo.6、No.8より、当日1曲指定する。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。</p>
------	--

打楽器専攻

Perc	<p>①②のいずれかを選択し、受験すること。</p> <p>① マリンバのみで受験する場合</p> <p>(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a) 調号# ♭ 2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。</p> <p>② 小太鼓とマリンバを用いて受験する場合</p> <p>(a) (b) (c)を演奏すること。</p> <p>(a) 小太鼓による1つ打ち・2つ打ち・ロール <i>pp</i> < <i>ff</i> > <i>pp</i></p> <p>(b) 小太鼓 C.Wilcoxon : The All American Drummer 150 Rudimental Solos(Ludwig Music版)のNo.1~No.4、No.13~No.16の中から当日数曲指定する。暗譜の必要はない。</p> <p>(c) マリンバによる音階 調号# ♭ 2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。</p>
------	---

声乐コース

Vo-1	<p>(a) (b) (c) いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) コンコーネ：1曲 コンコーネ50番の11番から30番までの20曲の中から、1曲を選択し、母音「ア」で歌うこと。 出願時に曲番号、および「高声用」「中声用」「低声用」のいずれを歌うかを届け出ること。</p> <hr/> <p>(b) 選択課題曲 下記の20曲の中から1曲を選択し、原語で歌うこと。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tbody> <tr> <td>● G. B. Bassani : Dormi, bella</td> <td>● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti</td> </tr> <tr> <td>● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore</td> <td>● A. Caldara : Sebben, crudele</td> </tr> <tr> <td>● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio</td> <td>● S. Donaudy : O del mio amato ben</td> </tr> <tr> <td>● F. Gasparini : Caro laccio</td> <td>● G. Giordani : Caro mio ben</td> </tr> <tr> <td>● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor</td> <td>● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)</td> </tr> <tr> <td>● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento</td> <td>● S. Rosa[*] : Star vicino ※新説では L. Mancina</td> </tr> <tr> <td>● A. Scarlatti : Sento nel core</td> <td>● F. P. Tosti : Rosa</td> </tr> <tr> <td>● J. Brahms : Wiegenlied</td> <td>● F. Schubert : An die Musik</td> </tr> <tr> <td>● R. Schumann : Die Lotosblume</td> <td>● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)</td> </tr> <tr> <td>● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より</td> <td>● 山田 耕筰 : かやの木山</td> </tr> </tbody> </table> <hr/> <p>(c) 自由曲：1曲 原語で歌うこと。課題曲リストより選択してもよい。ただし、(b) で選択した1曲と重複しないこと。</p>	● G. B. Bassani : Dormi, bella	● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti	● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele	● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben	● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben	● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)	● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa [*] : Star vicino ※新説では L. Mancina	● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Rosa	● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik	● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)	● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より	● 山田 耕筰 : かやの木山
● G. B. Bassani : Dormi, bella	● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti																				
● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele																				
● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben																				
● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben																				
● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)																				
● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa [*] : Star vicino ※新説では L. Mancina																				
● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Rosa																				
● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik																				
● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)																				
● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より	● 山田 耕筰 : かやの木山																				
Vo-2	<p>(a) (b) いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) コンコーネ：1曲 コンコーネ50番の11番から30番までの20曲の中から、1曲を選択し、母音「ア」で歌うこと。 出願時に曲番号、および「高声用」「中声用」「低声用」のいずれを歌うかを届け出ること。</p> <hr/> <p>(b) 自由曲：1曲 原語で歌うこと。</p>																				

作曲コース

Comp	転調を含まないバス課題1題。解答時間は60分。
------	-------------------------

共通科目

副科ピアノ

副Pf 下記の作曲家によるソナチネ、またはソナタの中から1曲を選択し、任意の楽章を演奏すること。
暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。
L.v.Beethoven、M.Clementi、A.Diabelli、J.L.Dusseck、J.Haydn、F.Kuhlau、W.A.Mozart

聴音

単旋律2題を書き取る。

視唱

①②のいずれかを選択し、階名で歌うこと。固定「ド」唱法、移動「ド」唱法のどちらでもかまわない。

①新曲視唱

当日与えられた、歌詞を伴わない無伴奏の旋律を2曲、初見で歌う。

②コールユーブンゲン

下記の中から、当日指定された曲を2曲歌う。繰り返しは省略すること。

コールユーブンゲン第1巻

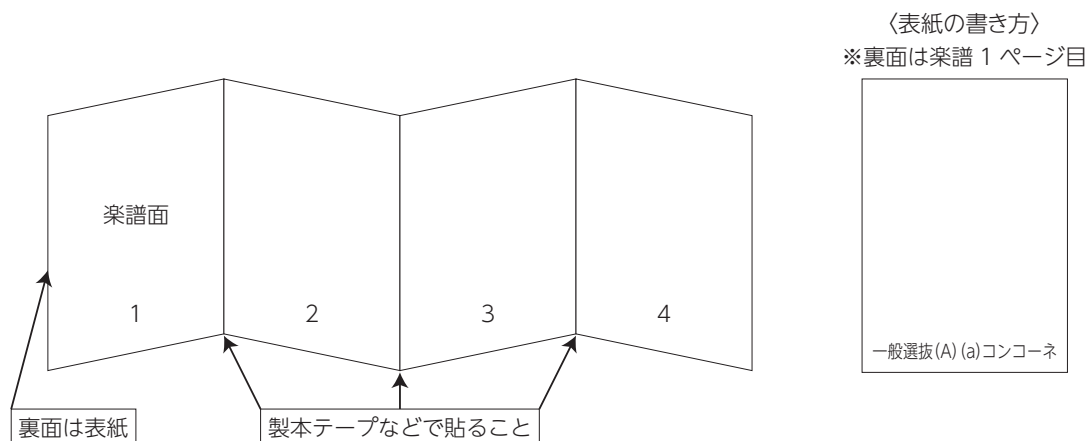
原書番号 No. 33 b) No. 37 a) No. 51 c) No. 75 d) No. 79 c) No. 80 c)

楽典

基本的な楽典、音楽史の筆記試験を行う。

声乐コースの伴奏用楽譜について

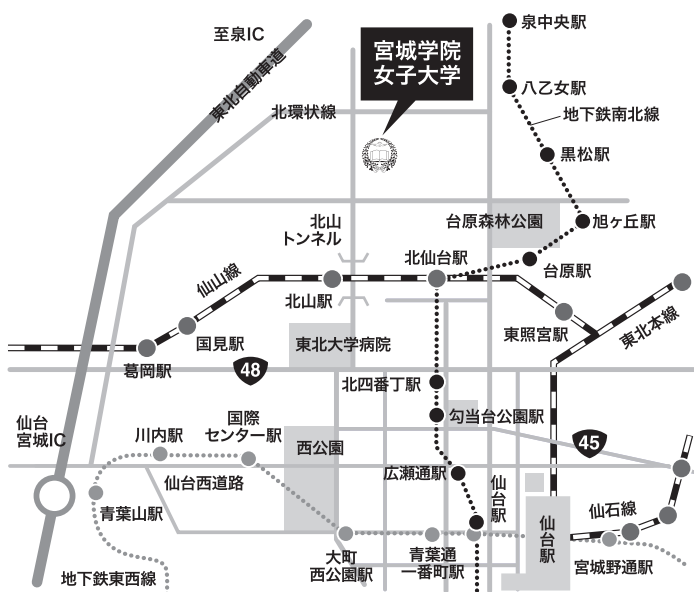
- ①楽譜は1ページのサイズをA4版とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
- ②伴奏者が演奏しやすいよう、1曲ごとに下記の図のように製本すること。
- ③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「一般選抜(A) (a)コンコーネ」「大学共通テスト利用選抜(B) (b)自由曲」等と記入すること。



アクセス

(2022年9月現在)

試験場案内図



<宮城交通バス>

一仙台駅からー 所要時間:約30分・料金390円

A:西口バスプール3番のりば

宮城学院線(宮城学院前行)乗車→「宮城学院前」下車

B:西口バスプール2番のりば

宮城大学線(JCHO仙台病院行 または 宮城大学行)乗車→「宮城学院前」下車

泉桜ヶ丘線(泉中央駅行)乗車→「宮城学院前」下車

一地下鉄旭ヶ丘駅からー 所要時間:約15分・料金250円

3番のりば

宮城学院線(宮城学院前行)乗車→「宮城学院前」下車

一地下鉄泉中央駅からー 所要時間:約25分・料金310円

6番のりば

泉桜ヶ丘線(加茂桜ヶ丘・北山トンネル経由・仙台駅前行)乗車→「宮城学院前」下車

<仙台市営バス>

一仙台駅からー 所要時間:約30分・料金360円

A:西口バスプール13番のりば

桜ヶ丘線(宮城学院行)乗車→「宮城学院前」下車

B:桜ヶ丘線(桜ヶ丘七丁目)乗車→「桜ヶ丘六丁目」下車

一地下鉄泉中央駅からー 所要時間:約15分・料金250円

1番のりば

南吉成線(貝ヶ森一丁目行 または 実況営業所前行 または 聖和短大前行)乗車→「上谷刈山添」下車

※路線・時刻表などの詳細については、宮城交通や仙台市交通局のウェブサイトでご確認ください。

※バス所要時間には、渋滞等の影響を考慮していません。

青森試験場案内図



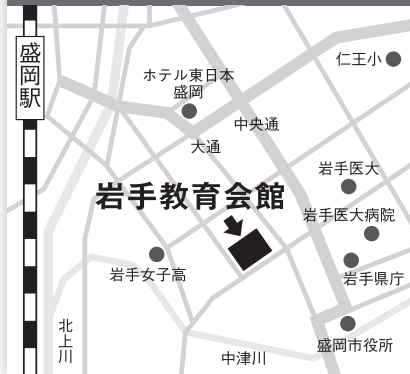
秋田試験場案内図



郡山試験場案内図



盛岡試験場案内図



山形試験場案内図



受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病その他の理由により、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず入試広報課にご相談の上、下記の通り申請してください。

大学入学共通テストの受験に際し、特別措置を申請した人は必ず申請してください。

ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	各入学者選拔出願開始日の1ヶ月前まで
申請方法	下記の書類を入試広報課までお送りください。 ・特別配慮願(本学所定/本学Webサイトからダウンロードできます) ・障がい・疾病の場合、状況がわかるものの写し(医師の診断書など) ・高等学校の所見(高等学校在籍者のみ)
問い合わせ先	宮城学院女子大学 入試広報課(022-279-5837)

出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の配慮が必要になった場合は、入試広報課に連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。

申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合はご相談ください。

注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス^(※)、インフルエンザ、麻疹等)に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず本学入試広報課までご連絡ください。

(※)新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験を受験することができなかった場合、一般選抜(A日程)は一般選抜(B日程)に振り替え、一般選抜(B日程)は2023年3月23日(木)に追試験を実施します。なお、当措置は新型コロナウイルス感染症を原因とする欠席者のみとします。追試験の選考方法は、当初受験予定だった選抜方法と異なる場合があります。

受験生ならびに保護者の皆様へ(個人情報保護について)

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験や入学後の学籍管理等教育運営に使用します。なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

願書送付・問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

入試広報課

<https://www.mgu.ac.jp/>
E-mail:nyushi@mgu.ac.jp
TEL.022(279)5837
FAX.022(279)5978

2022年10月